

都市再生整備計画 事後評価シート
大橋一丁目周辺地区(Ⅱ期)

平成26年3月

東京都目黒区

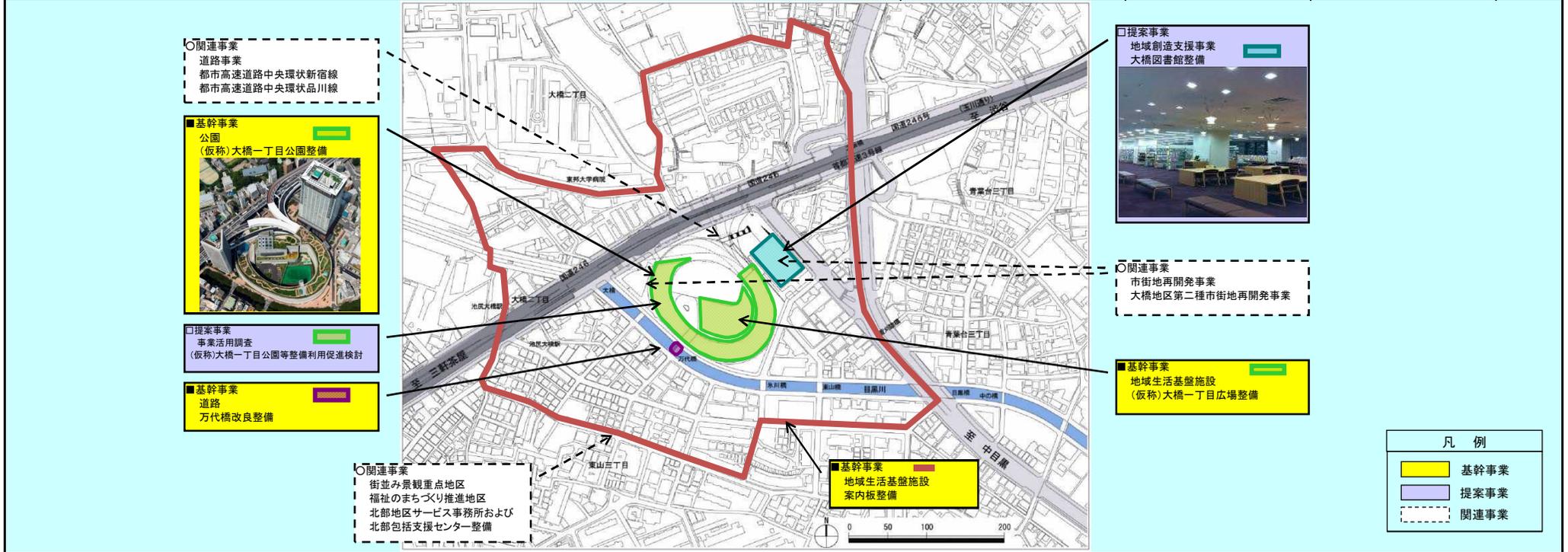
様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	東京都	市町村名	目黒区(めぐろく)	地区名	大橋一丁目周辺地区(Ⅱ期)(おおはしいちようめしゅうへんちく(にぎ))			面積	20ha			
交付期間	平成22年度～平成25年度	事後評価実施時期	平成25年度	交付対象事業費	2220百万円	国費率	0.29					
1) 事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業	基幹事業	事業名 道路(万代橋改良整備)、公園((仮称)大橋一丁目公園整備)、地域生活基盤施設のうち、(仮称)大橋一丁目広場整備、案内板整備									
		提案事業	地域創造支援事業のうち、大橋図書館整備、事業活用調査のうち、(仮称)大橋一丁目公園等整備利用促進検討									
	当初計画から削除した事業	基幹事業	地域生活基盤施設のうち、防災機器施設整備	削除/追加の理由			削除/追加による目標、指標、数値目標への影響					
		提案事業	地域創造支援事業のうち、集会所整備	国費対象外事業としたため。			影響はない					
	新たに追加した事業	基幹事業										
		提案事業	事業活用調査(仮称)大橋一丁目公園等整備利用促進検討	地域活動の拠点となるような利用促進の検討を行うため。			影響はない					
交付期間の変更	当初	平成22年度～平成24年度	交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響	道路事業の見直しを行ったため。期間変更であり事業内容に変更はないため、指標や数値目標への影響はない。								
変更	平成22年度～平成25年度											
2) 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値 基準年度	目標値 目標年度	数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ 予定時期	
	指標1	池尻大橋駅の乗降客数	人/日	56,533	H20	58,229	H25	59,394 (H25年度予測値)	○	あり ● なし	再開発地区の居住人口の増加が駅乗降客を増加させ、また、目黒天空庭園の来訪者も増えており、効果を発現している。	平成26年6月頃
	指標2	大橋図書館の利用者数(個人貸出者数)	人/年	114,239	H20	117,666	H25	185,596 (H25年度予測値)	○	あり ● なし	平成25年2月に図書館が移転拡張し、目黒天空庭園との相乗効果により、図書館利用者が増えている。	平成26年10月頃
	指標3	大橋一丁目の緑被率	%	3.59	H16	10.77	H25	16.65	○	あり ● なし	再開発ビル・目黒天空庭園等、新規の緑化によって、目標値を達成した(主に緑化計画書に基づく)。	-
3) その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	従前値 基準年度	目標値 目標年度	数値		目標達成度※1	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ 予定時期	
	その他の数値指標1											
	その他の数値指標2											
	その他の数値指標3											
4) 定性的な効果発現状況	事業に関連する住民参加の会議が数多く実施され、さらに継続的に展開する会議体が構成され、まちづくりの気運が高まってきた。											
5) 実施過程の評価	実施内容			実施状況				今後の対応方針等				
	モニタリング	なし		都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった								
	住民参加プロセス	・(仮称)大橋一丁目公園等整備及びジャンクション周辺整備工事説明会 ・大橋ジャンクション公園づくり検討会 ・(仮称)大橋一丁目公園等利用と管理の検討会 ・まちを元気にするアンケート調査の実施		都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した ● 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった								
	持続的なまちづくり体制の構築	・大橋エリアマネジメント協議会 ・大橋一丁目地区再開発協議会 ・しゃれた街づくり準備協議会 ・東山の街づくりを話し合う会		都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した ● 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				今後も、大橋エリアマネジメント協議会に参加するなどして、地元の意向等を把握しながら、地元のまちづくり活動を支援していく。				

様式2-2 地区の概要

大橋一丁目周辺地区(Ⅱ期)(東京都目黒区) 都市再生整備計画事業の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標		従前値	目標値	評価値
大目標: 快適に暮らし、魅力を感じる、まち・みち・再開発が一体となった活気ある街づくりⅡ	池尻大橋駅の乗降客数	単位: 人/日	56,533 H20	58,229 H25	59,394 H25
目標1: 公共公益施設や商業の充実とともに、安全で快適な歩行空間などの整備によって住むことの豊かさが実感でき、安心して暮らせる街づくり	大橋図書館の利用者数(個人貸出者数)	単位: 人/年	114,239 H20	117,666 H25	185,596 H25
目標2: 人のふれあいと交流を生む空間の整備により賑わいと活力にあふれた街づくり	大橋一丁目の緑被率	単位: %	3.59 H16	10.77 H25	16.65 H25
目標3: 再開発により変化する周辺環境に調和した緑があふれる街づくり					



まちの課題の変化	<ul style="list-style-type: none"> 再開発事業で整備された公共公益施設や商業施設、ジャンクションループ上部の公園整備により来訪者が増加しており、これを契機にさらなるまちづくりの機運が高まり、既存商店街の活性化に繋がりがつつある。 国道246号が大橋地区の南北の分断要素であったが、バリアフリー化された歩行者デッキ整備により歩行者の回遊が可能となり、地区全体として安全・快適な歩行環境が整備された。 大橋地区にはまとまった緑地空間が少なかったが、(仮称)大橋一丁目公園や(仮称)大橋一丁目広場整備により緑の空間が創出され、目黒川とともに憩いの空間が形成された。 再開発によって大橋地区来訪者が増加し、それに伴い来訪者のマナーなどの問題も生じ、新たな対応策を検討する必要がある。
今後のまちづくりの方策 (改善策を含む)	<ul style="list-style-type: none"> 国道246号沿道を始め、再開発地区周辺の安全で快適な歩行環境整備や維持管理を継続するため、目黒区景観計画や景観ガイドライン(案)を踏まえた魅力的な街並み景観づくりの取組み。 既往の協議会やまちづくりの組織・団体の連携を促進し、住民と商店街が一体となったまちづくりの取組みを発展させるため、活発な意見交換の場づくりや客観的な意見のとりまとめが可能となるような取組み。 既存商店街の活性化と公共公益施設や商業施設との一体的な街づくりを図るため、再開発事業内の公共公益施設(公園、広場、図書館等)のさらなる利用を促進し、その波及効果による地元商店街の活性化。 池尻大橋駅周辺はバリアフリー整備地区として、交通バリアフリー整備計画に沿って、誰もが安全で快適に移動できるようなバリアフリー化。